

自然エネルギー × 地域経済シンポジウム

「自然エネルギーで地域は元気になる ～分散型エネルギービジネスの可能性～」

千葉商科大学(学長:原科幸彦)と一般社団法人日本シュタットベルケネットワーク(代表理事:ラウパッハ・スミヤ ヨーク)と公益社団法人日本不動産学会(会長:原科幸彦)は、2月14日(木)、自然エネルギー×地域経済シンポジウム「自然エネルギーで地域は元気になる～分散型エネルギービジネスの可能性～」を開催します。

地域経済は需要と働き手の減少に悩み、自治体は財政の縮小などの課題が増加しているなか、国内外で注目を集めているのが、分散型エネルギービジネスです。分散型エネルギービジネスには、地域の自然資源によってエネルギーを生み出す自然エネルギービジネスと、住民の知見や技術を高めてエネルギーを効率的に利用する省エネルギービジネスがあります。

このシンポジウムでは、分散型エネルギービジネスで地域経済を活性化する方法や効果を議論します。特に、自然エネルギー先進国・ドイツのなかでも、地域に根ざした自然エネルギービジネスを展開するパイオニアとして著名なソーラーコンプレックス社の代表を招き、日本でも参考になり得る事例を紹介いただきます。自然エネルギービジネスに関心のある方はもちろん、地域活性化や企業経営、新事業の企画、地方自治、海外事情に関心をお持ちの方など、どなたでもご参加いただけます。奮ってご参加ください。

自然エネルギー × 地域経済シンポジウム

自然エネルギーで地域は元気になる ～分散型エネルギービジネスの可能性～ 参加無料・入退場自由

【日 時】2019年2月14日(木) 13:00～17:30 (12:30 開場)

【場 所】千葉商科大学 7号館地下1階 702 教室

【定 員】400名(先着順)

【申込方法】Web ページの申込みフォームよりお申し込みください。または、Web ページから申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてお申し込みください。

【申込締切】2019年2月12日(火) 定員に達し次第受付終了

【プログラム】

開会挨拶「自然エネルギー100%をめざす千葉商科大学」原科幸彦(千葉商科大学学長)、学生団体 SONE

第1部 パネル討論「自然エネルギーが拓く分散型エネルギービジネスの時代」

[パネリスト]飯田哲也氏(認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所所長)、吉原毅氏(城南信用金庫顧問)、原科幸彦

第2部:特別セミナー「地域を元気にするドイツの分散型エネルギービジネス」

- ・「地域エネルギー事業の地域経済効果～地域新電力の取組み」ラウパッハ・スミヤ ヨーク氏(立命館大学教授)
- ・「太陽光発電が地域に受け入れられるための工夫」板垣勝彦氏(横浜国立大学大学院社会科学研究院准教授)
- ・「地域エネルギー事業でエネルギー転換と地域発展を推進する～独ソーラーコンプレックス社の取組み～」ベネ・ミュラー氏(ソーラーコンプレックス社代表取締役)

[司会]田中伸一郎氏(一般社団法人地域政策デザインオフィス 代表理事) [通訳・解説]滝川薫氏(環境ジャーナリスト)

< 申込みに関するお問い合わせ先 >

千葉商科大学 学長プロジェクト4事務局(教務課内)

Tel: 047-373-9754 FAX: 047-373-9944 E-mail: pj4_jim@cuc.ac.jp (受付時間 月～金 9:00～17:00)